

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和元年度 第1回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和元年8月2日（金） （開会）午後1時30分・（閉会）午後3時30分
開催場所	桶川市役所 会議室402
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	相馬委員、新島委員、岩崎委員、井ヶ田委員、黒須委員 田中委員、村上委員、森田委員、西崎委員、椎木委員 町田委員、栗尾委員、北川委員、勇委員
欠席者氏名 （委員）	
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、栗原主事
会 議 事 項	議 題
	【概要説明】 （1）桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について 【議題】 （1）成果指標の達成状況について （2）平成30年度、令和元年度の取組について （3）次期総合戦略の策定について
	決定事項等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について御意見をいただきました。</li> <li>■ 平成30年度、令和元年度の取組について御意見をいただきました。</li> <li>■ 次期総合戦略の策定スケジュール（現計画の期間延長）について御意見をいただき、延長についての異議はありませんでした。</li> </ul>
配布資料	資料1 桶川市の現状について 資料2 桶川市の人口について 資料3 総合戦略の概要 資料4 国の地方創生と桶川市の主な取組 資料5 成果指標の達成状況一覧 資料6 駅自由通路往来者数調査結果 資料7-1 平成30年度の取組一覧 資料7-2 令和元年度の取組一覧 資料8 坂田地区公共施設の概要について 補足資料1 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿 補足資料2 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱 補足資料3 転入・転出アンケート集計結果

会 議 録 ( 2 )

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
<b>概要説明</b> 桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について	
事 務 局	<b>資料 1</b> 、 <b>資料 2</b> 、 <b>資料 3</b> 、 <b>資料 4</b> 、 <b>補足資料 3</b> に基づき、桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について説明。
委 員	<b>補足資料 3</b> 転入・転出アンケートの結果を見ると就職・転職・転勤をきっかけに転入している方が多いようですが、桶川市内への就職者やどの企業に就職しているかなどは把握していますか。
事 務 局	<b>補足資料 3</b> 転入アンケート集計結果の P 1 に転入者の通勤先を記載しています。桶川市内が最も多くなっていますが、さいたま市、東京都内が約 4 割を占めており、雇用は都心等に依存していることがわかります。就職先の企業については把握しておりません。
委 員	<b>資料 2 【図 1】</b> 平成 1 3 年から、世帯数は約 6 , 0 0 0 世帯増加しているが、住宅は増えているのでしょうか。 実際区画整理地内でもすでに空き家が出てきています。Uターン移住、定住を目的とするのはいいと思いますが、新しく桶川にきてもらうための PR はしているのでしょうか。
事 務 局	住宅の着工件数は年間数百件あります。区画整理も大きな規模で行っていますのでそこに新しい家族が移り住んでいることで世帯数が増えているものと思われま す。 桶川市は住環境が良く、市民アンケートの結果においても、住みよい理由として「災害の心配が少ない」が 1 位となっています。こういった桶川市の長を PR していきたいと考えています。現在、県央地域 4 市 1 町で移住・定住に向けた魅力発信事業を行っております。
委 員	桶川市の子育て支援等をまとめた冊子を子育て世帯が集まる施設に置くなど、若い世代に桶川市への移住定住を PR する機会を増やしてほしいと思います。
事 務 局	移住・定住は、まず桶川市を知っていただくことが大切であると考えています。現在も市 HP などを活用し情報発信を行っておりますが、引き続き、充実させていきたいと思 います。
委 員	桶川市の観光ポスターや観光情報誌などを使った情報発信はしていますか。北本は電車の中吊り広告の利用により、祭りの来場者数の増加に成功したと聞いています。
事 務 局	昨年度、桶川市観光ポスターを都内の JR 駅構内に掲示したり、桶川市の観光情報誌を高速道路の S A に設置したりする事業を実施しました。 具体の効果を数値化するのは難しいですが、桶川市に足を運ぶきっかけづくりとして今後もこういった取組を行ってまいりたいと考えています。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	桶川市の観光入込客数等に対する効果は把握しているのでしょうか。把握している場合推移はどうなっていますか。
事 務 局	担当課に確認し別途御報告します。
<b>議題（１） 成果指標の達成状況について</b>	
事 務 局	<b>資料５</b> 、 <b>資料６</b> に基づき、桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果指標の達成状況を説明。
委 員	<b>資料５②</b> 「女性の初婚年齢」が指標となっておりますが、達成に向けた取り組みは実施しているのですか。
事 務 局	結婚したいと考えたときに、安心して結婚できるような環境の整備に取り組んでいます。 最近では、昨年度より子育て支援として、子ども医療費支給対象年齢を１５歳から１８歳までに拡大しています。 また、桶川市は、埼玉県の婚活支援事業「SAITAMA 出会いサポートセンター」の協議会会員となっております。これは、AIを使ったマッチングシステムを利用するもので、２,０００人を超える方が登録しており、結婚したいと考えた方の出会いの機会を創出しています。
委 員	<b>資料５⑩</b> 駅利用者数を１１,０００人から１６,０００人に増やすことを指標に設定していますが、目標達成は困難な状況です。どのような事業を見込んで数値設定したのですか。
事 務 局	OKEGAWA hon プラス+の事業開始などを視野に、駅前の賑わいの指標として設定しました。 OKEGAWA hon プラス+では多くのイベントを実施しており、定員以上の集客があるものもあり好評をいただいています。また、 <b>資料５⑪</b> 駅西口図書館（現中央図書館）は来館者数が非常に多くなっていますが、駅利用者数の増加には直接の影響が出ていない状況です。次期、総合戦略策定時には、指標の再検討を行いたいと思います。
委 員	<b>資料５⑱</b> 「誘致企業の立地件数」を指標としていますが、誘致だけでなく、市内在住者が起業するなど、市内にも目を向ける必要があると思いますがどのように考えていますか。
事 務 局	圏央道の開通により、企業誘致に対する立地優位性が向上しているため、企業誘致を指標としています。 内発的な起業を促進する取り組みも重要であるため、起業等に関する取組について、次期、総合戦略の中で指標化も含め検討してまいります。
委 員	「結婚したくない」と考える方の中には「両親の関係や苦勞を見てみると結婚に前向きになれない」という理由が見受けられます。家族の絆やあり方という視点も大切だと思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	<p>県の婚活支援に会員として参加しているとのことですが、勤労青少年ホームでの婚活事業（指定管理者）が廃止となっています。県の事務所では遠いため、桶川市内で婚活支援を実施してほしいと思います。市内で婚活事業を行うことにより「桶川で出会ったので桶川に住む」といった効果があると思います。</p>
事 務 局	<p>現在、桶川市が主体で婚活支援事業を実施する予定はありませんが、県の婚活支援については、年2～3回桶川市役所で出張所を開設し、相談などを行っております。</p>
委 員	<p><b>資料5 ⑬</b>「べに花ふるさと館の来場者数」について、目標値には2万人ほど足りていませんが、指定管理者が変わり、指標を達成できるような新たな取組はありますか。</p>
事 務 局	<p>新たな取り組みとして、子供向けのイベントを増やすほか、指定管理者が運営している県内他市の施設で桶川市のうどんをPRする取組を予定しています。</p>
委 員	<p><b>資料5 ⑮</b> 駅東口の駅前広場、駅東口通り線の用地買収の進捗はどうなっていますか。</p>
事 務 局	<p>駅東口については、現在、用地買収を進めています。用地の取得率については、契約する土地面積によって変化します。土地面積の大きい箇所も残っていますので、そちらの買収が完了すると成果指標は上昇します。</p>
<b>議題（2） 平成30年度、令和元年度の取組について</b>	
事 務 局	<p><b>資料7-1</b>、<b>資料7-2</b>に基づき、平成30年の取組と、令和元年度の取組について説明。</p>
委 員	<p><b>資料7-1 No.20</b> 企業誘致の推進について、<b>資料7-2</b> 令和元年度の取り組みには記載がありませんが、今年度は実施しないとのことでしょうか。また、その場合理由は何か。</p> <p>また、<b>資料5</b> 製造業従事者数を指標としていますが、製造業以外の業種も多くある中、なぜ製造業のみを指標としているのですか。</p>
事 務 局	<p>平成30年度の取組は桶川北本 IC 周辺開発地権者協議会の活動に対し交付金を交付するものです。令和元年度については交付の申請がなかったため取組一覧には掲載されていませんが、企業誘致は引き続き推進しているところです。</p> <p>製造業従業者数のみを成果指標とした理由は、成果指標を達成するための取組を圏央道 IC 周辺における企業誘致としており、工場等を想定しているためです。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	企業誘致については各自治体で苦勞しているものと思いますが、商工会さんと連携して進めるなど、様々な取組を行うのもいいと思います。
事 務 局	次期総合戦略の策定におきましては、商工会等関係各所の意見を聞きながら進めてまいります。
委 員	中小企業に対し、新たな条例を制定し市内の企業の育成を行っている自治体もあるようなので、誘致だけでなく中小企業に対する支援についても検討していただきたいと思います。
委 員	近年は AI 技術が進歩し、物流倉庫では人手をあまり必要としなくなることもあるようなので、企業誘致については、雇用が生まれる企業に桶川に来ていただくよう進めてほしいと思います。
委 員	テレワークといった新しい働き方も増え始めています。週に 1 ～ 2 回出勤する方にとって立地上、桶川市は魅力的かもしれません。 企業のテレワーク施設や、従業員宿舍の誘致についても移住、定住の効果があるのではないかと思います。
事 務 局	次期総合戦略の策定にあたりましては、市内企業の支援、AI などの技術革新、テレワークなど新しい働き方についても考慮し、取組みを整理していきたいと考えています。
<b>議題（3）次期総合戦略の策定について</b>	
事 務 局	<b>資料 9</b> に基づき次期総合戦略の策定について説明
委 員	総合戦略の計画期間を延長し、総合計画と期間を合わせるのはいいと思いますが、当初の計画はなぜ計画期間を合わせなかったのですか。また、国は計画期間の延長を容認しているのですか。
事 務 局	当初、計画を策定する際に、国より 5 年間の計画とするよう助言がありましたので、計画期間が異なっています。 また、次期総合戦略につきましては、国は、計画期間を延長することを容認しています。
座 長	現総合戦略の計画期間延長について、本会議として異議なしということよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
<b>6. その他</b>	
委 員	総合戦略の指標について、成果を測る指標として適切か疑問のある指標もありますが、桶川市独自の指標なのでしょう。 全国の自治体でも総合戦略を策定していると思いますが、計画の指標については何か決まりがあったのですか。
事 務 局	総合戦略策定時、国から指標を設定することが求められていたが、その項目に決まりはありませんでした。本市が採用した指標について、他の自治体も同様の指標を多く採用しています。 人口減少の原因は多岐にわたるため適切な指標の設定は難しい面もあります、次期戦略の策定にあたっては、どういった指標が適切であるかも改めて考えていきます。